

「和食;日本人の伝統的な食文化」のユネスコ無形文化遺産登録

- 平成25年12月4日、我が国からユネスコ無形文化遺産に登録申請していた「和食;日本人の伝統的な食文化」の登録が決定。



国内

登録決定を機に、日本食文化を未来に向けて守り伝えていく、国民的な機運に繋げることが重要。

＝継続的なPRによる関心の維持、食育等による保護・継承



予算事業

- 日本食・食文化魅力発信プロジェクト(2,658百万円の内数、H26 新規)
- 地域における日本型食生活等の普及促進(消費・安全対策交付金で実施 352百万円、H26継続)

等

【ユネスコ無形文化遺産とは】

- 「無形文化遺産」とは、芸能や伝統工芸技術などの形のない文化であって、土地の歴史や生活風習などと密接に関わっているもののこと。
- ユネスコの「無形文化遺産保護条約」では、この無形文化遺産を保護し、相互に尊重する機運を高めるため、登録制度を実施。

【「和食;日本人の伝統的な食文化」とは】

- 「自然の尊重」という日本人の精神を体現した食に関する社会的慣習

- 【内容】
- ①新鮮で多様な食材とその持ち味の尊重
 - ②栄養バランスに優れた健康的な食生活
 - ③自然の美しさや季節の移ろいの表現
 - ④正月行事などの年中行事との密接な関わり

世界



[2020]

オリンピック・パラリンピック
東京大会



[2015]

ミラノ万博開催

テーマ「地球に食料を、生命にエネルギーを」



[2013]

「和食」登録決定

予算事業

- 日本及び日本食への注目の高まり
＝海外への日本食文化発信等の絶好の機会
- 日本食・食文化魅力発信プロジェクト(2,658百万円の内数、H26 新規)
 - ミラノ国際博覧会政府出展委託事業(1,100百万円、H26継続)